



キャラクターデザイン
坂本裕子さん (富塚)

てくてく レポート

®

～リポーターが
お伺いします～



リポーター

たけうち みちよ
竹内 徳代さん
(31歳 国時町)

旅行先・岐阜県八幡市で見た
かわいい『きぼっくり』。その
土地の昔の人々の生活を再現し
てありました。

この大野市でも『きぼっくり』
を作っている人たちがいると聞
いて取材に行ってきました。

親子で楽しく作ってみよう『きぼっくり』

今回、私は親と子供たちがいろんな遊びやレ
クリエーションなどを行いながら触れ合っている
サークルを取材しました。名前は「ホツとハウ
スinおおの」。平成十六年十二月に、代表を務
める梅林厚子さんが発足しました。

現在の会員数は約二、三十人。もともとお母
さんと子供たちが触れ合える何かをしようと始
めたサークルで、毎月第四日曜日に集まって例
会やレクリエーションなどを開いています。そ
の活動の一つに『きぼっくり』があります。大
野市のあちらこちらに落ちている自然を集めて
自分たちの好きな物を作ります。平成大野屋さ
んのお土産コーナーに置いてあるきぼっくりの
商品もサークルの人たちの作品です。

昨年の十一月二十五日には、シヨッピングモ
ールヴィオ内で、みんなと触れ合うイベントを
開催しました。



作ってみよう!

必要な道具を用意して、実際にきぼっくりを作ってみましょう。

- ▶ 接着剤：ホットボンド（樹脂を溶かして接着させる鉄砲型の道具。すぐに固まるため、使いやすい）
※木工用接着剤でも可。ただし固まりにくい
- ▶ ニッパ（木の枝・小枝など、硬いものを切るのに使用します）
- ▶ はさみ・カッター（他の材料を切るのに使用します）
- ▶ ノコギリ（土台の木を切るのに使用します）
- ▶ アクリル絵の具（顔を書くのに使用します）

材料を集めよう!

土台になる木を用意します。土台になる木は少し硬い方がいいので桜の木を使うとよいですよ。次に、自分が作りたい物の材料を用意します。例えば次のような物が挙げられます。

- ▷ 松ぼっくり
- ▷ どんぐり
- ▷ くるみ
- ▷ 木の枝・小枝
- ▷ 落花生
- ▷ シジミの貝殻
- ▷ 風船かずらの種
- ▷ 柿のへた
- ▷ 藁（わら）

これらの材料は、近所の公園や神社の境内で探して拾ってきた物ばかり。春や秋になるとみんなで山や公園・神社の境内へ探しに行きます。公園へ犬の散歩に出かけたりとか子供と遊びに出かけた時に拾って来たりもしています。

簡単レシピ

- ① 顔にするどんぐりを1つ用意します。
 - ② どんぐりにアクリル絵の具で目や鼻や口をかきます。
※この時、マジックは使用しないこと。(インクがはじいて書けないですよ)
 - ③ どんぐりに髪の毛になる物（麻の糸など）を接着剤で付けます。その上に帽子になる物（柿のへたなど）を乗せてもOK
 - ④ 顔と頭が完成したら、体になる物（マツボックリなど）に顔を接着剤で付けます。
 - ⑤ 次に腕（木の枝など）を付けます。
 - ⑥ 土台になる木（桜の木など）に出来た体を付けてから、足（貝殻など）を付けます。
 - ⑦ 乾いて固まったら完成です。
- 【注意】色や絵は、接着剤で付ける前に塗ったり書いたりしてね。



今回取材を終えて

私が「きぼっくり」に直接触れ合うのは今回が初めてでした。以前、旅行先で展示している物を見たことはありますが、こんなに簡単に身近な物で作成できるとは思っていませんでした。今回の取材で、子供たちと触れ合える素材が自分たちの身近な所にたくさんあるということに気がきました。

今の時代、子供たちが自然と触れ合うということが減少しつつあります。親が子供たちと一緒に自然に触れ合うということは、すごく良いことだと思います。『親子で楽しく大野市の自然に遊んで触れ合う』。これからもずっと続けていって欲しいと思います。



こだわり野菜おすそわけ



市民のページ

あなたも紙面に参加しませんか。希望する方は
情報広報課まで ☎0779・66・1111

環境に配慮した野菜作りを通して、地域の活性化に取り組んでいるのが「スターランド有機家庭菜園の味」です。現在、阪谷地区で農家を営む五十歳代から七十歳代の十一人が所属しています。結成は平成十四年。EM菌で作った堆肥を利用した野菜作りの研究・実践をしてきた農家が集まり、それぞれが培ってきた技術や知識を教え合いつつながら、栽培していくことと、思ったのがきっかけです。結成当時から各家庭で育てた野菜を持ち寄って市内のスーパーに出荷し、対面販売を行っています。寒暖の差の激しい阪谷地区ならではのうまみがあり、作り手と消費者の顔が見える関係を築いてきたそうです。

また、季節に合った新鮮な採れたて野菜を給食食材として地元の小中学校に提供し、その売り上げで毎年小学生をそば打ちに招待するなど、活動の幅を広げています。「メンバーの皆さんが自信を持って作っている姿を一度見に来てほしいですね。学校では子どもたちが野菜を残さなくなったと聞いています。自分も安心して食べているものを少しばと思ひ、活動しています」と副会長の野口秀子さん。このような活動が農業の活性化につながると認められ、今年度の「農林漁業とくらしのイメージアップ活動表彰」で優秀賞（県知事賞）を受賞しました。会長の村上政雄さんは「日ごろの地道な活動が認められ、うれしいです。これまで取り組んできた流れを絶やしたくないので、有機栽培にこだわる仲間を増やしたいですし、野菜ごとの作付け計画も考えていきたい」と語ってくれました。

【広告欄】

ヤマハ音楽教室
YAMAHA

♪生徒募集中♪

春の無料体験教室実施中!!

お問い合わせは
あしはら楽器
65-6888

無料レポートプレゼント!

「家づくりで損をしない方法」 限定10名様!!

定価1,000円 A5版73頁 本屋さんでは売っていません!

お申込は⇒TEL 0120-48-0618

(有) 羽生建築工業
大野市中掘 16-20

もっと詳しく知りたい方は⇒
フィットホーム 検索↑

ADVANCE SCHOOL

英語、数学、英会話

新中1生募集

Home 66-4311
Mail placebo@grape.plala.or.jp



林 義貞さん (53歳・朝日)

大野警察署和泉駐在所に勤務する林さんは、今年度の「福井県民の警察官」に選出されました。福井県民の警察官とは、県民の平和な暮らしを守るため、地域に密着した活動に取り組む警察官をたたえる目的で福井県警などが選考しているものです。高齢者対象の交通安全教室を開催するなど、地域住民と交流を深めている点が評価されました。

——受賞おめでとうございます。率直な感想をお聞かせください

諸先輩方が多くいる中で自分が選ばれたことは大変光栄に思います。地区の人も喜んでくれましたし、地区全体が盛り上がる起爆剤として、これからも活動していきたいと思っています。

——警察官になろうと思ったきっかけは
高校卒業後の進路として、事務の仕事より現場を走っているほうが自分に向いていると思い、警察官を志しました。昭和48年に警察官となり、福井警察署などで勤務してきました。「この土地で仕事をさせてもらっている」という気持ちを大切に業務に取り組んでいます。



——管轄している和泉地区の印象は

地域の人とふれあいながら生活、勤務する駐在所での仕事は、この和泉が最初だったので、当初は不安がありました。しかし、この地区の人は警察官としての立場を尊重してくれています。小学生が帰宅途中に駐在所を訪れてくれたり、地区を離れて県外で生活している方から、ふるさとの年老いた親のことを心配して駐在所に連絡してこられたりすることがあり、頼りにしてもらっていると感ぜず。離れたくないですね。

——笛で交流もしているそうですね

もともと音楽には興味があり、県警の音楽隊に所属していたこともあります。横笛は経験がなかったのですが、仲間と笛資料館で笛作りを体験し、そこで吹いたのが初めてです。それ以降、笛の魅力にはまっていきましたね。「青葉の笛保存顕彰会」への入会も勧められ、会の活動に参加しています。地区の敬老会で警察官として話をする際、笛の演奏を交えながら行っています。演奏の翌日、道端で出会った方から「笛を吹くおまわりさん」と声をかけてもらい、うれしかったですね。これからも交流していけたらと思っています。

「青葉の笛に魅せられています」
県民の警察官に選ばれる



子どもたちと篠笛練習

【広告欄】

広告募集中
(1カ月1枠1万円)
問い合わせ先
情報広報課広報広聴係
(☎66・1111内線441)

各種損害保険・各種生命保険
事故相談・各種保険診断
グランド保険株式会社
〒912-0021 大野市中野町2丁目2番16号
☎ 050-3386-3952 ☎ (0779) 65-6601
☎ (0779) 65-6657 ✉ info@grandboken.com
〈取扱保険会社〉 損害保険ジャパン アリコジャパン Affac
損保ジャパンひまわり生命 第一生命

トイレ困りごと相談会
3月15日(土)16日(日)
伏見屋設備
TEL 66-3412
陽明町二丁目807
http://www.fusimiya.jp



巨大チョコできた

大野青年連絡会による巨大チョコレートづくりが1月20日、メンバーや市民など約20人が参加して、学びの里「めいりん」で行われました。ハートをかたどった6辺四方の型に100*のチョコレートを流し込んで約3時間をかけて完成。作ったチョコは来場者に配布しました。



大会や教室など

「スキー」で交歓

1月から2月にかけて、市民総合体育大会や各種教室、交歓会が行われ、スキーを楽しむ姿が見られました。



第51回 市民総合体育大会
(2月3日 六呂師スキー場)



岩倉市民スキー教室
(1月19日・20日 九頭竜スキー場)



第44回 四ヶ浦小学校・有終西小学校交歓会
(1月27日 六呂師スキー場)



みんなでスポーツ「スキー教室」
(1月13日 六呂師スキー場)

話題のひろば



「冬の花火」見入る 灯ろう眺め朝市も

「2008 越前おおの 冬物語」が2月2日～3日にかけて、七間通りなどで開かれ、100基を超える雪見灯ろうの明かりが訪れる市民や観光客をもてなしました。学びの里「めいりん」会場からは花火が打ち上げられ、七間通りでは特別に朝市も開かれました。



手作りみそ造り

大豆栽培からみそ造りまでを体験する食育体験事業の最終回が、1月15日～17日にかけて下庄公民館で開かれました。参加者は、さわやか倶楽部の指導を受けて、蒸した米にこうじを混ぜ合わせる作業などに取り組んでいました。

豆まきで「火遊びしない」誓う

1月25日～2月4日にかけて、いなやま保育園など市内6保育園で「防火豆まき」が行われました。幼児に防火意識を高めてもらおうと消防署が毎年実施しているものです。火遊びした鬼に豆をぶつけて退治した後、園児は「火遊びはしません」と大きな声で誓いました。





笑顔！で「いただきます」⑫

白身魚のミルクソース焼き



材料 (四人分)

※分量は給食献立に基づき表示

- ・ほき(白身魚) 4切れ
- ・玉ねぎ 6分の1個
- ・パセリ 2^g
- ・マヨネーズ 大さじ2
- ・牛乳 大さじ1と2分の1
- ・粉チーズ 5^g
- ・塩 少々

子どもたちの健康を支えている給食献立。今月は「白身魚のミルクソース焼き」です。

給食から一品

作ってみよう

【まず】

白身魚に塩をふっておく。玉ねぎはできるだけ細かく薄く切り、パセリはみじん切りにして水に浸しておく。

- ①ボウルに牛乳、玉ねぎ、マヨネーズ、粉チーズ、水気を切ったパセリを入れて混ぜ合わせる。
- ②アルミカップに白身魚を入れ、①をかける。
- ③予熱しておいたオーブンで、こんがり焼き色がつくまで焼く。(175℃で20分程度)

達人のワンポイントアドバイス

白身魚を白ワインにつけておくとし臭さを消すことができます。牛乳やチーズでカルシウムを摂取できますし、マヨネーズが入っているので、子どもにも喜んでもらえると思います。

(学校調理師 松田禮子さん)



市民のうごき

平成20年2月1日現在

世帯数	12,240世帯 (-17世帯)
人口	38,741人 (-54人)
〈男〉	18,489人 (-29人)
〈女〉	20,252人 (-25人)

◆1月中の内訳

転入	33人	出生	19人
転出	58人	死亡	48人

編集後記

話題のひろばで紹介した二月三日の「市民総合体育大会」。私も恥ずかしながら、クロスカントリーの部に出場しました。昨年の大会が雪不足のため中止となったこともあり、二年ぶりに履いた板は自分自身をとて不安にさせました。出番までに終えてしまおうと考えていた撮影もうまくいかず、歩き、終えた後で撮り直した写真を掲載。

保護者や先生の声援を受けて、上り坂を一生懸命に滑る小中学生の姿に、「この経験が将来、いろんな場面に生きるから、歯くいしばって頑張れ!」と、心の中で思いながら声援を送りました(林)



最近、各自動車メーカーの軽自動車のテレビコマーシャルが目立つ。今までの軽自動車のイメージはどのメーカーも同じようなデザインで、車内は狭く、スピード感もなく敬遠されてきたが、軽自動車の新しい風、新しい軽自動車の誕生。とテレビコマーシャルが流れるように、各メーカーの独自の車体のカラー、デザイン、車内の広さ、高パワーで普通自動車にひけを取らないようになってきた。まさに女性好みの車の登場というところだろうか▼依然として、ガソリン代も高騰しているため、今や低燃費で低排出ガス、そして維持費も考えて、わが車も軽自動車への買い替えを考えるようになった。今後のカーライフにおいては、まだまだ車が必要とするが、間近に迫る年金生活になれば、新車の購入もままならないようになるであろう▼先日、娘との会話で「母の友達のしゅうとめさん、八十二歳で免許更新したのよ。すごいね」「母の場合、危ないなあと思うようになったら説得してね。すると娘からは「私の言うことに耳を貸すかしら」と言われてしまった▼都会と違い、車が主な交通機関の地域では、これからも高齢者の運転も多く、事故率も高くなるだろう。今後の高齢化社会においての一つの課題である(小林)